

【体力特集号】

学校だより 令和5年3月1日 No.15



いずみだい

北九州市立泉台小学校 校長 平川 信乃

学校教育目標
「心豊かに たくましく生きぬく 実践力のある子どもの育成」
～ 自分の未来を 自分で切り拓く力を育む ～

子どもと目指す 泉台の「あ・い・う・え・お」
「あ」 あいさつをしよう 「え」 笑顔でチャレンジ！自分をみがこう
「い」 いのちを大切にしよう 「お」 お話をしっかりと聞こう
「う」 美しい学校にしよう

令和4年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における 泉台小学校の分析結果と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和4年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思います。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動と一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部です。

1. 体力・運動能力に関する調査結果の概要（全国・本市・本校の実技調査の結果）

<男子>

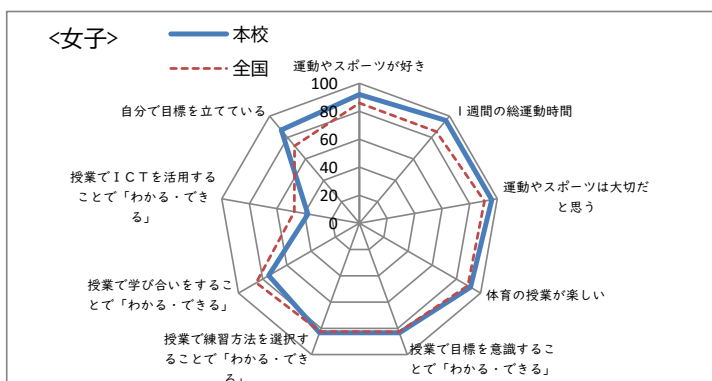
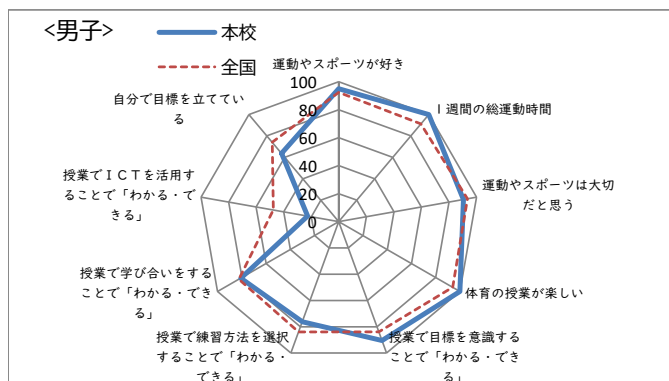
本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.21	18.86	33.79	40.36	45.92	9.53	150.83	20.31	52.28
本市	16.29	18.72	34.05	39.47	46.86	9.51	151.13	21.34	52.55
本校全国平均以上の種目	○	○		○	○		○	○	○

<女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.10	17.97	38.18	38.66	36.97	9.70	144.55	13.17	54.31
本市	16.24	17.46	38.12	37.90	38.13	9.69	144.81	13.31	54.12
本校全国平均以上の種目	○			○	○		○	○	○

2. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査レーダーチャート



質問紙調査の結果分析

- ・「運動やスポーツが好き」「1週間の運動時間」「体育の授業が楽しい」という回答は男女とも全国を上回っている。
- ・「目標を意識すること」は、男女とも全国を上回っている。しかし、「自分で目標を立てる」という主体的な学びの姿については、女子は全国を上回ったが男子は下回った。一人一人の思考・判断・表現を大切にしながら、主体的な学びを引き出す工夫を行っていく必要がある。
- ・「授業での学び合い」や「ICTの活用」については全国を下回った。また、「自分に合った方法を選択すること」についても、女子は全国を上回ったが、男子は下回った。ICTの積極的な活用や個に応じた活動を工夫したい。

3. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科（授業）に関する取組（全校で・学年で・学級で）

- ・本年度は、大規模改修工事に伴い、運動量確保のための年間カリキュラムの見直しを行った。来年度も、運動場の改修工事を予定している。運動量の確保が課題となるため、年間カリキュラムの見直しや工夫を一層図っていく必要がある。
- ・今後は、授業の中で、技のポイントと自分の動きを映像で比較することで動きの改善を図ったり、話し合いで自分の考えをタブレット端末に示して見える化したりして、ICTの効果的な活用を図り、より主体的な学び合いになるよう工夫する。

② 運動習慣等に関する取組（1校1取組）

- ・運動場を活用できる時期に全校で外遊びを奨励したり、「ランランタイム」などの設定や、「持久走カード」・「縄跳びカード」などの活用を工夫したりして、運動量を確保し、児童の意欲化を図る取り組みを行う。
- ・委員会活動で「運動まつり」を行うなど、体育館を有効に活用しながら取組を工夫する。